

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年9月26日(木) 5校時

対 象 男14名女11名計25名

指導者 志羅山 孝

1 単元名 物語を紹介する絵巻をつくろう(光村図書 下)

教材名 ごんぎつね

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、会話や行動から人物の人柄や心情を想像して読む学習を重ねてきた。「白いぼうし」では叙述や挿絵から物語の情景や主人公の人柄を想像して読み、音読劇をした。「一つの花」では場面ごとに登場人物の会話や行動、キーワードに着目して作者の思いを読み取る学習を行った。これらの学習を通して、児童は、登場人物や場面の様子を叙述に気を付けて読むことができるようになってきている。

児童は、物語の学習には意欲的である。しかし、文章や活字に苦手意識があり、自分では深く読み進めることができない児童が多く、登場人物の心情やその変化などを想像して読むには至らないことが多い。始めのうちは意欲的に読む反面、単なる字面からの浅い読み取りになることも多い。読み取りが浅いこと、根拠を明確にできないことから、自分の考えに自信がなく発表したがる児童も多い。友達のことをよく聞くことが苦手な児童も多く、話し合いに深まりが見られない。

本単元では、導入段階で学習のゴールを確認して、児童が見通しをもって学習が進められるようにしていきたい。また、登場人物の行動や心内語に着目して読み取り、読み取ったことを友達と交流することを通して、自分の考えがより広まったり深まったりするを感じさせたい。

(2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本教材は最後の場面までは主人公「ごん」の視点で書かれており、「ごん」の心情やその変化がとらえやすい。ごんの行動は気持ちの裏返しであり、ごんの寂しさ、優しさ、素直に出せないもどかしさと他にわかってもらえないやるせなさなど、4年生の子どもたちが抱える心情とつながるものがある。ごんを撃ってから真実を知った兵十や、兵十と心を通わせながらも死に行くごんに対して、より共感的に子どもたちは読み取っていくと思われる。昔話で、児童にとってはなじみのない言葉もあるが、注釈や挿絵を手掛かりにしながら読み進めていきたい。

作者、新美南吉の存在も意識し読書生活にも結び付き読書範囲が広がるようにしたい。

(3) つけたい力と読みの方法

【つけたい力】

○読みの方法

【場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述をもとに想像して読む力】

【文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づく力】

- 登場人物の設定、出来事、登場人物の行動や心情に着目して読む。
- 読み取ったことを基に、登場人物の心情の変化を絵巻にまとめる。

単元を貫く言語活動

新美南吉の物語を読み、物語絵巻をつくる。

本単元では、絵巻をつくるという活動を通し、登場人物の心情を叙述を基に想像して読む力をつけることを目指す。想像して読んだことを交流することで、一人一人の感じ方の違いにも気づかせていく。

「見通す」段階では、学習のゴールを示し、学習計画を立て、児童に学習の見通しを持たせる。新美南吉作品の並行読書も始める。

「深める」段階では、主教材「ごんぎつね」の物語の設定をしっかりとらえさせる。なぜ、ごんがいたずらばかりするのかを考えさせる。次に各場面の出来事、ごんの気持ちの変化について読み取らせる。どんな出来事があり、それをきっかけにごんの気持ちがどのように変化したのかを、ごんの行動や「つぶやき」から想像させる。想像して読んだことを交流し、自分の考えを確かにしたり、深めたり広めたりさせる。その後、ごんの心情をごん日記に表す。最後の場面ではうなずいたごんの気持ちを・ごんと兵十はわかりあえたか・ごんの願いは通じたのか、を観点に考えを交流し、友達との感じ方の違いに気づかせていく。

「まとめる」段階ではごんの気持ちがどのように変化してきたのか物語全体を通して考える。そして「深める」段階で書いたごん日記や挿絵などを貼り、「ごんぎつね」の物語絵巻に仕上げる。

「広める」段階で好きな新美南吉の作品を、人物の心情の変化、きっかけとなった出来事について絵巻にまとめる活動を行う。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○絵巻を進んで作ろうとしている。	・読み取ったことを絵巻に表そうとしている。
書く力	○根拠を明確にしながら登場人物の心情の変化について書くことができる。	・叙述のどの部分からそう思うのか明確に言える。

読む能力	<p>◎場面ごとに登場人物の性格行動や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことができる。</p> <p>◎登場人物の心情の変化について、自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。</p>	<p>・会話や心情表現、行動から人物の行動や気持ちの変化を読み取っている。</p> <p>・読み取ったことを基に、登場人物の心情をまとめ、友達の意見と比べることができる。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。</p>	<p>・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。</p>

4 単元の目標と評価規準（全17時間 書く 5時間 読む 12時間）

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書く力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	・新美南吉の作品を知り、作品の絵巻を作ることを知る。	・新美南吉の作品に興味をもち読もうとしている。 (ノート・発言)			
	2	・作品の絵巻を書くという単元のゴールに向けて、学習計画を立てる。	・学習の大まかな計画がわかり、見通しをもっている。 (観察)			

深 め る	3	・ 1 の場面前半を読み取り、ごん日記にまとめる。			・ ごんの状況を読み取り、ごん日記にまとめることができる。 (ワークシート)	・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
	4	・ 1 の場面後半を詳しく読み取り、ごん日記にまとめる。			・ いたずらをするごんの気持ちを読み取り、ごん日記にまとめることができる。 (ワークシート)	
	5	・ 2 の場面のごんの思ったことを詳しく読み取る。			・ ごんの思ったことを読み取ることができる。 (ワークシート)	
	6	・ 2 の場面のごんの気持ちを読み取りごん日記に表す。			・ いたずらを後悔するごんの気持ちを読み取り、ごん日記にまとめることができる。 (ワークシート)	
	7	・ 3 の場面を詳しく読み取り、ごん日記にまとめる。			・ つぐないをし続けるごんの気持ちを読み取り、ごん日記にまとめる。 (ワークシート)	
	8	・ 4・5 の場面を詳しく読み、ごん日記にまとめる。			・ つぐないをしても兵十にわかってもらえないごんの気持ちを読み取り、ごん日記にまとめることができる。 (ワークシート)	
	9	・ 6 の場面の出来事を読み取る。			・ 二人の行動を読み取ることができる。 (ワークシート)	
	10	・ 6 の場面でのごんの気持ちを想像し、ごん日記にまとめる。			・ うなずいた時のごんの気持ちをごん日記にまとめることができる。 (ワークシート)	

まとめ	11 本時 12	<ul style="list-style-type: none"> 物語全体を通して、ごんの気持ちの変化をまとめ、交流する。 絵巻を完成させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習したことをまとめて感想絵巻を作っている。(作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ごんの気持ちの変化をまとめ、交流することができる。(ワークシート) 	
広める	13 14 15 16 17	<ul style="list-style-type: none"> 新美南吉の作品の絵巻を書く。 絵巻の発表会をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 出来事や登場人物の気持ちの変化に気を付けて絵巻を書いている。(作品) 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の心情の変化に気を付けて聞く。(観察) 	

5 本時の指導 (本時 11 / 17 時間)

(1) 目標

- 物語全体を通して、ごんの気持ちの変化をまとめ、交流する。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点・具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手だて
読む力	ごんの兵十や兵十のおっかあへの気持ちなどを考えて、いたずらを後悔するごんの気持ちをごん日記にまとめている。	いたずらを後悔するごんの気持ちを叙述から読み取り、ごん日記にまとめている。	ごんの心内語からいたずらを後悔する気持ちを読み取らせる。
	例) 兵十のあんなしおれた顔、見たことない。いつも元気な兵十から笑顔をうばってしまった。(中略) あんないたずらをしなけりゃよかった。兵十すまない…。	例) いつもは元気のいい兵十があんなしおれたかおをしていた。(中略) あんないたずらをしなけりゃよかった。	

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問 ・期待する児童の反応 【指導の視点】	教師の関わり ・留意事項 ◎評価
見 通 す 5	<p>1 前時までの学習を想起する。 【「ごんの死」によって結末をむかえてしまったやりきれない状況を確認する。】</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ごんが兵十に伝えたかった気持ちをまとめ、友達と交流しよう。(150～200字)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの気持ちのすれちがいが招いた悲劇を振り返らせる。 ・兵十にうたれ、意識が遠のくごんの心の中にどんな思いがあるのか想像させる。
深 め る 35	<p>3 自分の思いを書きまとめる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 150字～200字で10分以内にワークシートにまとめる。 ・ 書き終わった児童は、推敲して待つ。 ・ 推敲が終わった児童は、壁面の掲示物や自分のノート等で本学習を振り返る。 <p>4 グループごとに考えを交流する。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会は事前に決めておく。 ・ 声の高さに気をつける。 ・ 視点に沿って聞き取る。 ・ 代表を決める。 <p>5 全体で交流する。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表が発表する。 ・ 教師が板書する。 ・ 工夫された表現方法を取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなできごとがあつたが、整理・統合した内容を書くために、抽象化して書かせる。 <p>◎条件を満たして、自分の思いを書くことができたか。 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の次の視点に留意して聞き分ける。 ① 分かりやすい表現か ② 深い読み取りか ③ 目のつけどころが興味深いか
ま と め る 5	<p>6 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>○ 学習の振り返りをしましょう。</p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごんが兵十に伝えたかった気持ちを友達の作文から読み取ることができたか。 ・ 絵巻を完成させ、鑑賞会を開くこと知らせる。

板書計画

ごんぎつね

新美南吉

ごんが兵十に伝えたかった気持ちをまとめ、友達と交流しよう。(150〜200字)

○各班の思い

一班発表内容

二班発表内容

三班発表内容

四班発表内容

五班発表内容

六班発表内容

○振り返り

- ・兵十にあやまりたい。
- ・自分への後悔。
- ・無念な思い。